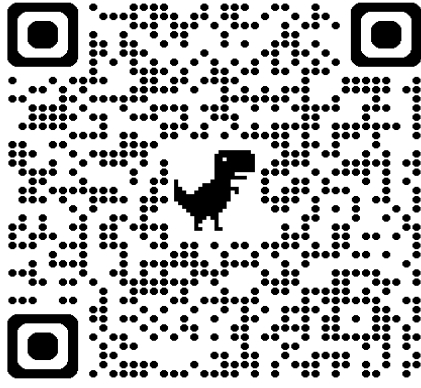
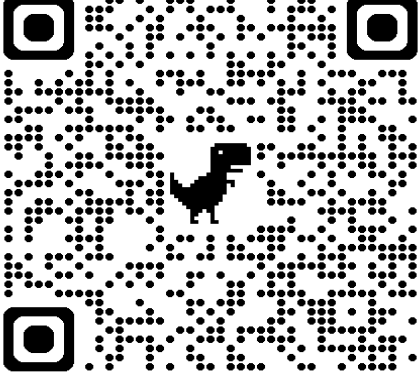

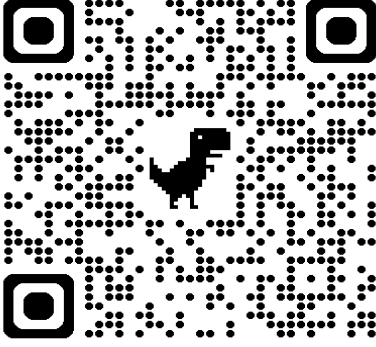
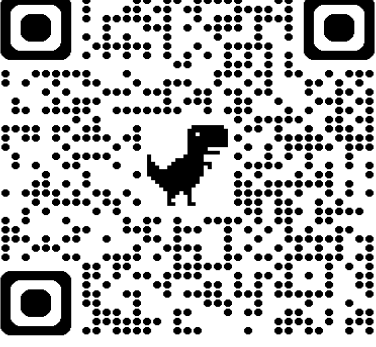
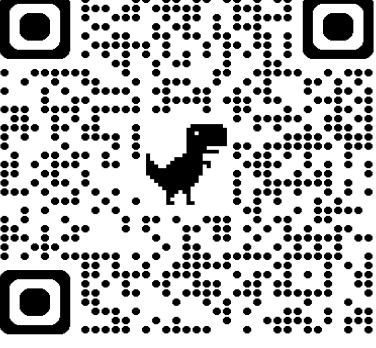







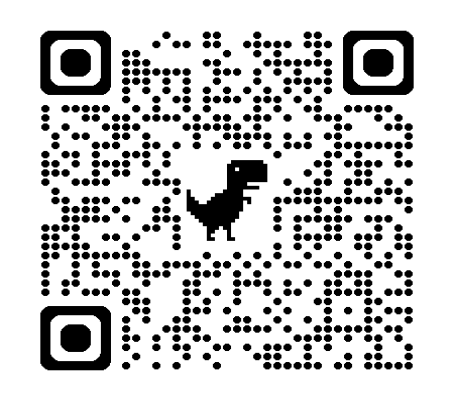
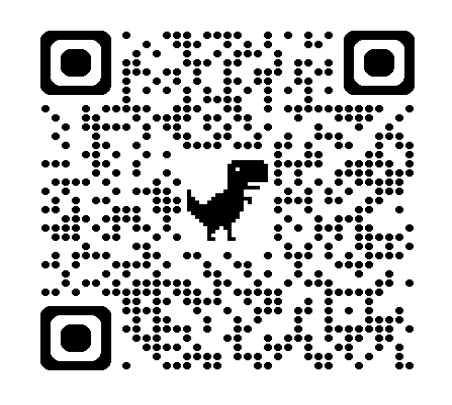


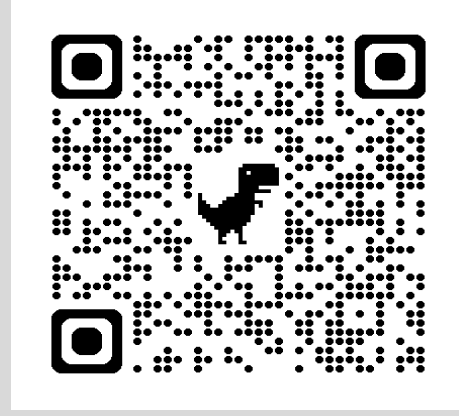
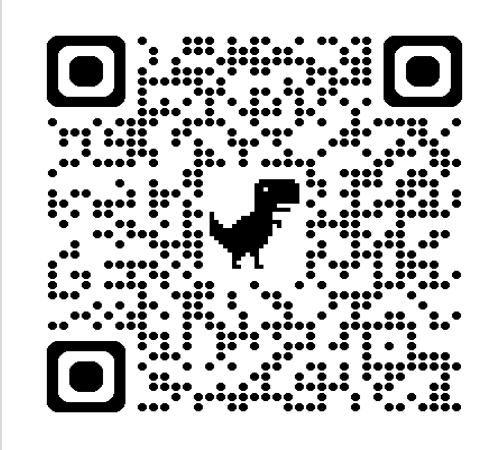
●個人応募(希望者は各自で募集元に申請をしてください)




	民間等奨学金	募集対象	応募方法	募集人数	貸与または給付	金額	応募用紙入手・リンク先	財団・団体提出期限	提出方法	学内指定提出書類	注意点
73	令和7年度埼玉県行田市奨学金返還支援金	<div>・申請年度中において、支援対象となる奨学金を返還している方</div> <div>・令和6年2月1日以降、新たに行田市に住民登録した方</div> <div>・申請時に属する年度末日時点において支援対象者が30歳以下の方</div> <div>・申請日から3年を超えて行田市に居住する意思を有する方</div> <div>・就業している方(個人営業主も含む)・本市アンケート等に協力できる方(移住者の視点から本市への意見等を聴取)</div>	個人応募	—	給付	年上限12万円 最大3年間支援【当該支援金の交付を申請する年度内に返還した奨学金の額(利子相当額を含む。)の2分の1とし、この場合において、他の奨学金返還支援制度を利用している場合は、その額を差し引いた額を交付対象とする。】	https://www.city.gyoda.lg.jp/sos_hiki/sougouseisakubu/kikaku_sei_saku/gyomu/iju_teizyu/9751.htm ↓ 	2025年4月1日(火)～ 2026年3月31日(火)	持参、郵送、Eメール、電子申請(行田市電子申請・届出サービス)のいずれかの方法	—	奨学金一覧 対象となる奨学金 1日本学生支援機構 第一種奨学金 2日本学生支援機構 第二種奨学金 3埼玉県高等学校等奨学金 ※その他の奨学金については、ご相談ください。
71	甲斐市奨学金貸付事業	以下の要件すべてに該当する必要があります。 1 学校教育法に規定する高等学校または特別支援学校の高等部、専攻科及び大学(大学院を除く)に在学していること。 2 学業及び人物がともにすぐれ、かつ、健康であること。 3 学資の支弁が困難であること。 4 市の住民基本台帳に登録している者の子弟であること。 5 他の制度による奨学資金を受けていない者	個人応募	—	貸付(無利子)	1 大学在学者 月額2万円 ※貸付を受ける者の進学する最初の月に限り、支度金として別に1か月分を貸付けます。	https://www.city.kai.yamanashi.jp/soshikinogoannai/kyoikusomuka/kyoikusomukakari/1_1/5063.html 	原則として毎年3月1日から4月30日まで(土日、祝日を除く)	郵送	—	奨学生と決定してから、奨学生が在学する学校の最短就業年限の年度末まで。 (大学 最高4年)
70	甲斐市若者定住促進奨学金返還支援事業	次のすべてに該当する人が対象です。 ・令和7年4月1日以降に奨学金の返還を開始した人 ・令和7年4月1日以降に県内事業所等に正規雇用等で就業している人 ※正規雇用等…1週間の所定労働が30時間以上の被雇用者・個人事業主・自営業者・事業専従者。公務員は除く。 ・認定申請を行う年度の4月1日時点の年齢が35歳未満の人 ・認定申請時に市の住民基本台帳に登録され、本市を生活の本拠地としている人 ・在学期間中に対象となる奨学金の貸与を受けていた人 ・市税を滞納していない人 ・他の制度により奨学金の返還に係る補助を受けていない人 ・甲斐市暴力団排除条例に規定する暴力団、暴力団員又は暴力団員等でない人 ・風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定する性風俗関連特殊営業を行う者でない人	個人応募	—	返還支援	(1) 定額月賦返還方式 月額1万円 (2) 前号以外の返還方式 月額12万円 ※交付申請を行う年度の前年度において、補助対象者が市内に居住し、かつ、正規雇用等で勤務した期間が1年に満たない場合は、月額1万円を上限とし、対象となる月数を乗じた額とする。ただし、15日に満たない月がある場合は、その月は対象外とする。 ※補助金の総額は、120万円を上限とする。 (補助対象者の認定)	https://www.city.kai.yamanashi.jp/soshikinogoannai/sangyo/sangyosouzou/15206.html 	期限は甲斐市産業創造係へ問合せください。	郵送	—	


69	公益財団法人 日本通運育英会	以下のA～Dの要件をすべて満たす学部学生 A. 交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が交通事故により重度の心身障害(※1)を負った方。あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。(※2) (※1)保護者等の重度の心身障害とは、次のいずれかに該当することと言う。 (心身障害等の原因が交通事故であることが条件になります。) 1. 障害者手帳 1～4級 2. 精神障害者手帳 1～3級 3. 自動車損害賠償保障法施行令 別表第1及び第2の1～7級 (※2)学生本人の場合は、上記(※1)を適用せず、軽度であってもその障害もしくは傷病と交通事故との因果関係が交通事故証明書、診断書等で認められれば、対象者となります。 B. 2026年4月1日現在で、18歳以上25歳以下の方。 (高等学校在学中の予約採用は行っていないため、高校3年生の方は大学入学後、4月に本人から申請するよう願います。) C. 経済的に修学が困難であると認められる方。(募集要項記載の応募基準を満たす方。) D. 学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方。	個人応募	20名	給付	月額3万円		http://www.nittsu-ikueikai.or.jp/#requirements	2026/4/1日(水) ～5月15日(金)	郵送・必着	—	※基準等は当該奨学団体のHP,募集要項を確認のこと。
68	公益財団法人 センコーみらい財団事務局	(1)文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」の対象者(多子世帯を含む)であり、(高校在学時に「予約採用」で申込み決定した方) (2)2026年4月入学予定の新1年生であること (3)4年制の学部・学科であること(6年制の学部・学科は除く) (4)自宅生は対象外	個人応募	20名	給付	自宅外生 月額50,000円 入学一時金 400,000円		https://senko-mirai-foundation.com/#bosyu	2026年3月1日(日)～ 2026年4月15日(水)	郵送・必着	—	※奨学金の併給について 文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」以外の他制度は原則不可
64	一般財団法人 田淵育英財団	以下の条件をすべて満たす方が応募できます。 (1)2026年4月度における商船系大学の新3年生 (2)船員を志望する意思が強く、海技士免状取得を目指していること (3)向上心に富み、学業優秀であり、かつ品行方正であること (4)在籍する教育機関の学校長または学部長の推薦を得ることができること (5)生計を同一とする保護者等の同意を得ることができること※1 ※1 社会人経験者等ご自身が主な生計者である場合や、生計を同一とする保護者等がない場合は、当該同意書は不要です。その場合は、所定書類の「応募理由」欄にその旨を併記して下さい。	個人応募	15人	給付	月額 3万円 (年間 36万円)		https://www.tabuchi-ikueizaidan.or.jp/	2026年5月15日(金) 当財団事務局必着	レターバックもしくは 簡易書留等で郵送	—	給付期間:奨学生として採用した年の4月から、原則として正規の最短修業年限の終期まで。 但し、4年生大学における乗船実習学科就学期間を除きます。
62	長崎県産業人材育成奨学金返済アシスト事業	【募集対象者】 (1)奨学金を受給している大学生等(令和8年4月時点で在学中の方。 (2)令和9年3月卒業かつ令和9年4月就職予定のもの (3)対象業種の県内事業所で正規雇用として就業及び県内定住を希望するもの (4)支援候補者に登録された場合①～③に同意するもの ①氏名、連絡先(住所及び電子メールアドレス)、学校に関する情報(学校、学部学科名、卒業予定時期等)を「アシスト企業」へ提供すること 「アシスト企業」とは、奨学金返済アシスト事業の趣旨に賛同し、寄付にご協力いただいた企業・団体の内、対象業種に含まれる企業をいいます。 ②県及びアシスト企業から郵便又は電子メール等により就職関連情報、企業情報等を送付、送信すること ③県から連絡する各種の事務手続きを期限までに行うこと期限までに手続きを行わなかった場合、予告なく登録は失効します。	個人応募	70名程度	返還支援	○大学等在籍中に受給した対象奨学金の返済額(入学時の一時金及び利息を除く)の2分の1以内(上限150万円) ○県内の対象業種に就職後、3年間勤務後に支援金の半額(奨学金返済予定額の1/4)を支給し、6年勤務後に残りの半額を支給します(上限150万円)。		https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kankou-kyoiku-bunka/gakkokyoiku/assist/kouhosya/	令和7年10月31日(金)～令和8年2月16日(月)17時厳守	電子申請	—	◆対象奨学金を受給して大学等(注)を卒業した後、対象業種の県内企業に正規雇用され、一定期間以上県内で就業・居住するなどの要件を満たした者に対し、大学等在学中に受給した奨学金の返済額の1/2(上限150万円)を支援します。 【対象奨学金】(入学時貸与の一時金は対象外) ①独立行政法人日本学生支援機構の第一種及び第二種奨学金(入学時の一時金は対象外) ②母子父子寡婦福祉資金貸付金のうち修学資金 ③生活福祉資金貸付金のうち教育支援費(就学支援費は対象外)




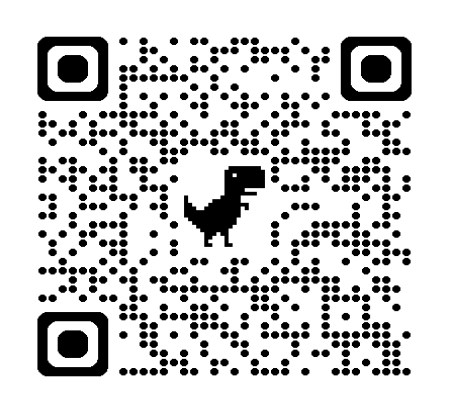

6	青森県あおり若者定着奨学金返還支援制度担当 (Aomori Pref.)	(1)大学の卒業生で、採用時に35歳未満の方※卒業見込みの方も予め登録可能 (2)「日本学生支援機構」または「青森県育英奨学会」の奨学金利用者(給付型除く)	個人応募	—	返還支援	150万 100万 60万 のいずれか	https://www.aomori-life.jp/syogakukin/youth/ 	2025/12/28まで (2025年4月1日から2026年3月31日就職者) 2026/12/28まで (2026年4月1日から2027年3月31日就職者) 2027/12/28まで (2027年4月1日から2028年3月31日就職者)	電子申請郵送 電子メール	—	※他返還支援を受ける場合は県に申告必要。 ・採用予定者数と支援金額は企業により設定 サポート企業からの内定前に、サイトから登録を行う必要があります。登録前に内定を受けた場合は支援対象外となります。 ※内々定は可 サポート企業一覧 https://www.aomori-life.jp/syogakukin/members/
43	公益財団法人キーエンス財団 (Keyence Foundation)	以下のいずれの各項にも該当する者 ・2026 年 4 月に日本の大学に入学する者 (4 年制の学部・学科生に限る。ただし通信教育課程及び夜間学部生、並びに留学生を除く。) ・2026 年 4 月 1 日現在、20 歳以下である者 ・経済的な支援を必要とする者 ※ 日本学生支援機構を含む他の奨学金との併用について (併用とは、当財団の奨学金に加え、期間を一部でも重複して他の奨学金を受給すること) ・貸与型奨学金:併用可 ・給付型奨学金:併用不可(ただし海外留学支援の奨学金は併用可) ・国の修学支援制度による授業料等減免:併用可 ・大学独自の制度のうち現金が給付されるのではなく、大学に納付する授業料が実際に減額又は免除される制度:併用可 ※ Only for the Japanese students.	個人応募	全国: 700名程度	給付	月額10万円	https://www.keyence-foundation.or.jp/application/ 	(一次選考) Web 登録2026/2/2(月)～ 4月3日(金) 午前10 時 (二次選考) 書類:2026/4/9(木)～4/22(水)締切当日消印有効 Web 登録:2026/4/9(木)～ 4/22(水)午前10 時	Web登録	—	
4	山梨県多様性社会・人材活躍推進局労働人材育成課(やまなし暮らし支援センター)	【制度の概要】 ・対象者 高専,専門学校,短大,大学,大学院を卒業し、令和7年4月以降に就職する35歳未満の者 ・対象業種 県内に事業所を有する全業種の中小企業 ・補助率 日本学生支援機構奨学金(第1種・第2種)の在学期間中の借入額総額の1/2 補助上限額は120万円 ・補助要件 県内に勤務かつ居住(10年間のうち、8年間で満額支給) ・定 員 なし	個人応募	—	返還支援	日本学生支援機構奨学金(第1種・第2種)の在学期間中の借入額総額の1/2 補助上限額は120万円	https://shougakukin.pref.yamanashi.jp/wp/wp-content/uploads/2024/10/a66653f706fa675f7505eabd3a8f9723.pdf 	令和8年度採用:令和8年3月6日(金)まで	郵送(簡易書留) もしくはオンライン申請 (特設サイト) https://shougakukin.pref.yamanashi.jp/job-seeker/	—	
2	千葉県教育庁 令和6年度～11年度千葉県公立学校教員採用候補受検者奨学金返還緊急支援事業	千葉県の公立学校教員(高校は除く)になることを強く希望する者のうち、(1)又は(2)に該当する者で、(3)～(5)のすべてに該当する者 (1)令和5年度に大学生4年生又は短期大学2年生として在学しており、令和5年度実施の本県の教員採用選考に合格した者 (2)令和6年度時点、高校3年生から大学4年生で令和7年度から令和11年度新規採用者 (3)日本学生支援機構の第一種奨学金を返還予定又は返還中の者 (4)大学等を卒業した者又は卒業予定の者 ※ 大学等には短期大学も含む (5)千葉県の教員採用選考を通過した直近の4月1日に、本県の小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の教諭として就業し、採用後11年経過するまでの期間、勤務する予定の者	個人応募	要件を満たす者 全員	返還支援	卒業前4年間に日本学生支援機構第一種奨学金として貸与を受けた額以内	https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/syokuin/ninyo/r07/syougakukinzigyoku.html 	教員採用選考を受検する前年度の 2月末日まで ※最終:2028/8/27(日)	オンライン	—	

1	全国大学生協連奨学財団たすけあい奨学制度	在学期間中に扶養者を亡くされた学生(扶養者死亡日から1年以内の応募に限る)	個人応募	-	給付	120,000円を一括支給 (扶養者死亡から卒業までの期間が6カ月以内の場合は、1カ月につき24,000の割合で給付)	一般財団法人 全国大学生協連奨学財団(たすけあい奨学制度) (univcoop.or.jp)		扶養者死亡から1年以内	応募フォーム・郵送	-	
72	社会福祉法人 さぼうと21 2026年度 「生活支援プログラム」 Support21 Social Welfare Foundation	【在留資格】 ①日本に定住する外国にルーツをもつ学生で、2026年4月に日本の大学に通学中または入学予定であり、以下のaまたはbに該当する方 a)難民とその子など、本人／親が難民またはそれに準ずる背景により来日した方 b)原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ方 ・既に日本国籍になった方も応募可 ・在留資格が「留学」の方は対象外 ②学費の負担が困難な方 ③研修行事などに参加できる方(交通費支給)	個人応募	20名程度 (全国)	給付	36万円(月額3万円) ※原則として2～3ヶ月ごとに送金	https://support21.or.jp/needsupport/scholarship-seikatsu/		2026/1/5(月)～ 2026/1/30(金)必着	簡易書留又はレターバックで郵送	—	・他の団体の奨学金と重複して受給することができます。 ・さぼうと21の【坪井一郎・仁子 学生支援プログラム(坪井基金) 対象:大学3年生以上・大学院生で、P.1の応募資格に該当する方】と同時には受給できません。 ・受験中の方も応募できますが、入学を希望する学校に不合格だった場合、再選考になります。 ・支援生に決まった後、応募用紙に書いたことが事実ではないとわかったときは支援金の支給をすぐに中止します。 ・留学などにより海外で生活するときは、支給を停止または終了します。
67	公益財団法人 岩谷直治記念財団 (2026年度日本人大学院生)	応募者は、学業成績が優秀であって、学生生活上、経済的援助を必要とし、次のすべての条件に該当する者となります。 (1)日本国籍を有する者 (2)2026年4月1日時点で日本に在住し、大学院の修士課程または博士課程に在籍している者または入学決定者 (3)自然科学系および関連する学際分野を専攻している者 ※工学、理学、および農学の全般、ただし医学、薬学は除く (4)2026年4月1日時点の年齢が修士課程は満30歳未満、博士課程は満35歳未満の者 (5)2026年4月以降、他機関からの奨学金や研究支援金等を受けない者(但し、大学からの月額10万円未満の奨学金等は除く) (6)学位取得にあたり、経済的援助を必要とする者 (7)奨学金支給1年目に5回開催する奨学生例会に年間を通して出席し、奨学生としての義務を果たせる者(詳細は、「3.奨学生の義務」を参照) (8)奨学期間中に他国への短期留学、交換留学等により日本を離れる予定のない者 (9)奨学金支給終了後当財団との関係を継続する意志のある者 (10)国際交流と親善を積極的に行う者	個人応募	5～10名程度	給付	月額15万円(別途、例会出席及び学会発表のための旅費を奨学金支給中1回のみ補助します)	https://www.iwatani-foundation.or.jp/scholarship/#02		2025年12月1日(月)～ 2025年12月20日(土)	WEB申請	—	支給期間は2026年4月1日より標準年限までの最長2年間とします。支給期間内に在籍する課程を修了し学位を取得した時は、たとえ支給期間が2年間に満たない場合であっても、学位取得月を最後に奨学金の支給を終了します。但し、修士学位を取得後、博士課程に進学が決定している場合は、通年で最長2年間の支給期間とします。また、財団が認める特別な理由を除いて支給期間の延長はありません。 募集要項「3.奨学生の義務」については必ずご確認ください。
66	タウ・スカラシップ事務局	①満25歳未満であること ②スポーツ、芸術、学問、医療、介護などの各分野で秀でた実績や能力を有すること ③応募時点で日本在住の方 ④経済的理由により活動が制限され社会的サポートを必要とする方 ⑤目的達成に向け、情熱をもって取り組まれている方 ⑥活動分野に限定せず、自己成長の為にひたむきに努力できる方 ⑦タウ・スカラシップ奨学生として、広報活動等にご協力いただき、前向きにご参画いただける方 ⑧奨学生には、奨学生証書授与式にご出席いただきます。開催日は2026年4月1日(水)に予定しております。	個人応募	6名～8名以内 (予定)	給付	※1名あたり年間150万円～200万円を目安とします。 ※希望金額および実績、能力、意欲などを考慮し、応募者ごとに給付額を決定します。	https://tau.co.jp/services/csr/scholarship/		2025年11月17日(月)～ 2026年1月5日(月)【期限延長しました】	応募フォーム	—	すでに他の制度の奨学金を受給している、またはその予定のある方でもご応募いただけます。 ただし、他の制度が奨学金の併用受給を禁止している場合には、タウ・スカラシップが採用となっても取消しになることがありますので、他の制度を主催している学校・団体等に事前にご確認ください。


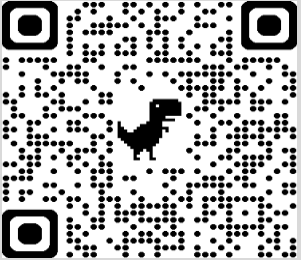
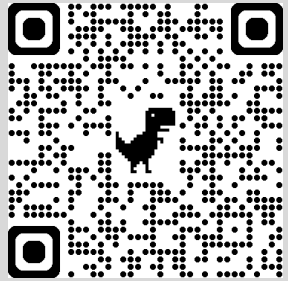
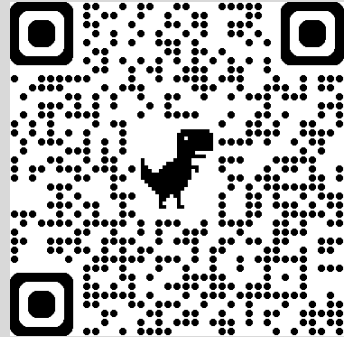
65	一般財団法人 長嶺財団	当財団の奨学生となるものは、次のいずれにも該当しなければならない。 ① 出願時点で、沖縄県に縁のあること(以下のいずれかに該当する者) ア. 本人が沖縄県内に住民票がある者 イ. 保護者(※血縁関係の有無を問わない)のいずれかが沖縄県内に住民票を有する者 ② 日本国籍を有し、国内の大学または大学院(以下、学校という。)に在籍している者 ③ 学業に意欲があり、かつ経済的な理由により修学の継続が困難な状況にある者 ④ 将来社会に有益な活動を目指す者 ⑤ 学業成績が優秀であること(下記のいずれかに該当すること) ア. 在校生の場合、大学または大学院入学時から直近までの学業成績において GPA(平均成績)が2.4以上であること イ. 1年生で在学校の成績証明がない場合、高等学校における評定平均が3.5以上であること ウ. 高等学校卒業程度認定試験の合格者であること ※血縁関係のない保護者とは… 里親(児童福祉法に基づく)、法定後見人(未成年後見人等)、児童養護施設等の職員など	個人応募	最大8名(予定)	給付	年額36万円 給付期間:令和8(2026)年1月～12月	https://nagaminezaidan.org/requirements/ 	令和7(2025)年11月10日(月)～12月26日(金)必着	オンライン申請・郵送	—	給付期間:令和8(2026)年1月～12月
61	一般財団法人鎌田記念財団	当財団の奨学生となるものは物流・ロジスティクスを学ぶ四年制大学生および大学院生であり、次のいずれにも該当しなければならない。 ・日本国籍を有し、学費の援助をすることが必要であると認められる者 ・将来社会的に有益な活動を目指す者 ・学業成績が優秀であること(下記のいずれかに該当すること) ・在校生の場合、大学入学時から直近までの学業成績において、GPA(平均成績)が2.4以上であること ・新入生の場合、高等学校等における評定平均が3.5以上であること ・高等学校卒業程度認定試験の合格者であること ・下記のような物流・ロジスティクスに関連する科目を履修できる学科に在籍していること 主な科目 Dロジスティクス特殊研究講義、IoTロジスティクス実践講座、Mロジスティクス研究1・2 演習、Mロジスティクス研究1・2講義、SCM論(サプライチェーンマネジメント論)、グローバル・ロジスティクスⅠ・Ⅱ、グローバルロジスティクスと海運、グローバルロジスティクスと貿易、グローバルロジスティクス論ⅠⅡ、サプライチェーン・マネジメント特論 など	個人応募	27名	給付	年額36万円(月額3万×12ヶ月)	https://kamatamemorial.org/requirements/ 	令和7(2025)年9月16日(火)から12月26日(金)まで(再延長しました) ※当日必着	オンライン申請・郵送	—	※他奨学金との重複、併用可。
60	一般財団法人 生涯学習開発財団 事務局	・満50歳以上(2025年12月31日現在) (性別、国籍、所属を問わない) ・日本国内在住者 ・日本国内の大学で博士課程在籍者、もしくは論文博士号取得希望者 ・当財団Webサイトおよび広告媒体にて 氏名・年齢・写真・研究タイトル・論文要旨などの公開を了承し、インタビュー取材に応じる者 ・授与式に出席を了承する者(2026年3月開催予定)	個人応募	人数の定めなし	助成金の支給	一人50万円を2026年3月に支給予定	https://www.gile.or.jp/project/doctorate/doctorate-application/ 	2025年12月5日(金)必着	郵送	—	
58	公益財団法人 蔵人記念財団 (Kurodo Foundation) 〈2026年度募集〉	次の各号の全てに該当する方 (1)2026年1月1日時点において日本国籍で大学1年生の方 (2)世帯年収が目安として400万円(税込み)以下であること ※兄弟姉妹多数など他の経済的理由で就学が難しい方も対象となりますので、その場合は願書の「その他連絡事項等」欄にその旨をご入力ください (3)親権者、未成年後見人、生計を同じくする方等の保証人による同意を得ている方 (4)本人、親権者、未成年後見人、生計を同じくする方等が反社会的勢力ではないこと (5)日本国内にある大学で、農学部、畜産学部、水産学部及びそれらに準ずる学部・学科(獣医学は除く)に在籍している者	個人応募	全国:12名	給付	月額40,000円	https://www.kurodo-foundation.or.jp 	2026/1/31(土)	Web登録後に書類を郵送(必着)	—	<応募方法> 【STEP1】エントリー ① 蔵人記念財団HPトップの画面右上の「応募する」をクリック ② 必要事項を入力の上「確認」をクリック ③ 入力内容に間違いがないかを確認し「送信」をクリック ⇒エントリー完了 【STEP2】応募書類の送付 エントリー完了後に送られてくるメールにしたがって応募手続きを行ってください ※給付は大学2年次より行います。

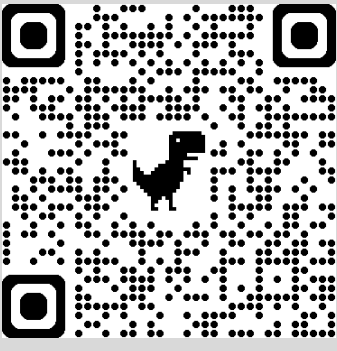



56	公益財団法人キーエンス財団 2026年度貸与奨学金返還支援	以下のいずれの各項にも該当する者 なお、他の奨学金等との併用についての制限はありません。 ・2026 年 3 月に日本の大学を最短修業年限(*)にて卒業する見込みがある者 (4 年制の学部・学科生に限る。ただし通信教育課程及び夜間学部生、並びに留学生を除く。) ・2025 年 4 月 1 日現在、23 歳以下である者 ・JASSO の貸与奨学金(第一種奨学金・第二種奨学金を問いません。)を受けている者 ・返還期限猶予(*)の対象者は除く。 ・当財団の 4 年間給付型奨学金を受けたことがない者 ・在籍大学が当財団からの求めに応じ選考に必要な情報を提供することに同意できる者 ・勉学に励み価値ある大学生活を送っている大学生 * 最短修業年限については募集要項参照。ただし、休学期間は除きます。 * 編入学者については、編入学前の学校(大学、短大、高専など)での在籍期間が最短修業年限であること (留年をしていないこと)が必要です。	個人応募	200名程度	返還支援	返還総額の50%を一括返還 (ただし、最大240万円まで、 当財団からJASSOへ直接返還)	https://www.kevence-foundation.or.jp/scholarship03/ 	(予備選考) WEB登録 2025/10/1(水)～11/14(金)午前10時まで (本選考) 書類提出 2025/11/25(火)～2026/1/23(金)当日消印有効 WEB登録 2025/11/25(火)～2026/1/23(金)午前10時まで	WEB登録及び書類郵送※レターパック等追跡サービスのあるものにすべての書類を入れてください。不足の場合はいかなる理由であれ受理しません。お送りいただいた書類は返却いたしません。 ※ 書類到着に関する問い合わせには対応いたしかねます。到着確認は、レターパック等の追跡サービスをご利用ください。	—	
51	徳島県奨学金返還支援制度 事務局	1.日本学生支援機構等の無利子奨学金又は有利子奨学金の貸与を「受けている方」又は「受けていた方」 2.徳島県内の事業所に正社員として就業を希望する方(公務員を除く。) ※大学等(大学、短大、大学院、高等専門学校、専修学校専門課程)を卒業した翌年度の9月末までに就業を開始する必要があります。 3.大学等を、「令和7年度(令和8年3月に限る。)」又は「令和8年度(令和9年3月以外も含む。)」に、「修業年限以内」に卒業する予定の方 4. 徳島県内に住所を有する予定の方	個人応募	全国:250名程度	返還支援	・日本学生支援機構無利子奨学金借受総額の 1/2(上限125万円) ・日本学生支援機構有利子奨学金借受総額の 1/3(上限85万円)	https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/sa-ngo/shushokushien/5048099/ 	2025/8/1(金) ～ 2025/1/23(金)	電子申請又は簡易書留郵送 (当日消印有効)	—	
44	三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業 (Mie Pref.)	(1)4年制課程で学部3年生以上、専攻科及び別科の場合最終学年の1年前の学年以上、博士課程の場合最終学年の1年前の学年以上、修士課程の場合1年生以上で、日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)又はこれに準ずる奨学金を借入れ、返還予定の方 ※三重県外在住かつ三重県外大学等在学中の方は第一種奨学金に加え、第二種奨学金(有利子)又はこれに準ずる奨学金も対象となります。(2) 【一般枠】三重県内で居住かつ就業を希望する方 【南部地域優先枠】三重県南部13市町で居住又は就業を希望する方 【南部13市町】伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、大台町、玉城町、度合町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町 ※ Only for the Japanese students.	個人応募	一般枠:110名 南部地域優先枠:40名	返還支援	最大100万円 (学生の場合)在学中に借り入れた奨学金残額の1/4にあたる額 ※利子は対象外	https://www.pref.mie.lg.jp/Kikakuk/HP/miesalon/74737039887_00002.htm 	2025/12/19(金)	電子申請 郵送 (配達証明)持参	—	







42	公益財団法人キーエンス財団 2026年度貸与奨学金返還支援	以下のいずれの各項にも該当する者 なお、他の奨学金等との併用についての制限はありません。 ・2026 年 3 月に日本の大学を最短修業年限(*)にて卒業する見込みがある者 (4 年制の学部・学科生に限る。ただし通信教育課程及び夜間学部生、並びに留学生を除く。) ・2025 年 4 月 1 日現在、23 歳以下である者 ・JASSO の貸与奨学金(第一種奨学金・第二種奨学金を問いません。)を受けている者 ・返還期限猶予(*)の対象者は除く。 ・当財団の 4 年間給付型奨学金を受けたことがない者 ・在籍大学が当財団からの求めに応じ選考に必要な情報を提供することに同意できる者 ・勉学に励み価値ある大学生活を送っている大学生	個人応募	200名程度	返還支援	返還総額の50%を財団から直接一括返還(ただし、最大240万円まで)	https://kevence-foundation-i-web.jp/n.com/scholarship032025/?_gl=1*4gdko*_ga*MTgzMTY0NTE5Ni4xNzM4MjE5NzU1*_ga_J6LW5WT3MZ*_czE3NDk1MzUwMzkkbzUkZzEkdDE3NDk1MzU3ODgkaiYwJGwwJGaw 	(予備選考) WEB登録2025/10/1(水)～ 11/14(金)午前10時まで (本選考) 書類提出2025/11/25(火)～2026/1/23(金)当日消印有効 WEB登録2025/11/25(火)～2026/1/23(金)午前10時まで	Web登録	—	* 最短修業年限とは以下の通りです。ただし、休学期間は除きます。 * 編入学者については、編入学前の学校(大学、短大、高専など)での在籍期間が最短修業年限であること(留年をしていないこと)が必要です。応募者の入学形態 最短修業年限 1 年次からの入学 4 年間 2 年次からの編入学 3 年間 3 年次からの編入学 2 年間 4 年次からの編入学 1 年間 * 返還期限猶予 災害、傷病、経済困難、失業などの返還困難な事情が生じた場合に返還期限の猶予を願い出る制度
63	一般財団法人高久国際奨学財団	令和8年4月時点で下記の資格すべてに該当すること (1)日本国内且つ関東地域の大学院に在籍し、日本国籍を有する学生。 (2)令和8年4月時点で日本の大学院博士後期課程在籍または、令和8年4月以降の入学が許可されており、在学証明書、合格証明書、入学許可書等、入学の内定を証明できる書類のいずれかを提出できる者。 (3)令和8年4月時点で在籍期間が残り1年以上あること。 (4)指導教授の推薦を受けた者。 (5)本奨学生となった場合、他の奨学金や助成金等を受けないこと。(博士課程を対象とした公的な支援制度『日本学術振興会・特別研究員』等も併給不可。但し貸与型奨学金は併給可。) (6)奨学金支給終了後も当財団と通信等を継続する意思のある者。 (7)国際理解と親善に関心を持ち、貢献を意図する学生。 (8)月例会(月に1回、土曜日)、財団の定めた行事に必ず出席できる学生。 * 月例会及び行事への出席は奨学生の義務です。出席できない場合はいかなる理由でも奨学生の資格が取り消しになる場合があります。 (9) 月末にA4 1 枚(1200文字程度)のレポートを必ず提出できる学生。	個人応募	2人	給付	月額70,000円併給不可 (毎月当財団月例会で手渡し)	http://www.takaku-foundation.com/ 	2025/11/1(土)～11/30 (当日消印有効)	普通郵便又はレターパック ライトで郵送 (書留不可)	—	・支給期間:令和8年4月から令和9年3月まで
59	一般財団法人 TCS奨学金	(1)日本国内に居住し、日本国籍を有していること。 (2)日本国内の四年制大学及び修士課程大学院(通信・夜間を除く、以下「大学等」という)に2025年度に在学しており、2026年4月時点で大学2年生から大学4年生又は大学院1年生、大学院2年生に進学・進級見込みであること。 (3)最短修業年限で卒業見込みであること。 (4)修得単位数が標準単位数(※1)以上で、直近の学業成績につきGPA(平均成績)が3.3以上であること。 (5)学修計画書の提出により、将来、社会で自立し、活躍する目標をもって大学等における学修意欲を有していることが確認できること。 (6)本財団が企画する行事(懇親会等)への参加に協力することができること。 なお、応募に際して、世帯の所得水準及び他の給付型奨学金受給の有無に関する制限はございませんが、審査基準事項の一部となります。 ※1 標準単位数 = 卒業必要単位数 ÷ 修業年限 × 在学年数	個人応募	【Aグループ】・・・大学2年生～大学4年生 15名程度 【Bグループ】・・・大学院1年生及び大学院2年生 15名程度 ※学年はいずれも2026年4月時点における学年です。	給付	月額5万円 (年間60万円)	https://tcs-foundation.or.jp 	2025/11/28(金)	Web申請	—	応募に際して、世帯の所得水準及び他の給付型奨学金受給の有無に関する制限はないが、審査基準事項の一部となる。
52	鹿児島県教育委員会 (Kagoshima Pref.)	次の①・②のいずれかに該当し、かつ、③から⑥までの全てに該当する者 ①鹿児島県内の高等学校等(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校の高等部、高等専門学校及び専修学校(高等課程)(以下「高等学校等」という。)を卒業した者 ②鹿児島県外の高等学校等を卒業した者又は高等学校卒業程度認定試験合格者(県内に生活の本拠を有する者の子等で、県内の中学校を卒業した者に限る。) ③大学又は大学院に在学し、令和9年3月(令和8年度中を含む。))に大学等を卒業(修了)予定の者 ④独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金又は公益財団法人鹿児島県育英財団大学等奨学金の貸与を受けている者又は受けていた者 ⑤大学又は大学院を卒業(終了)後、県内企業等に就業する意志がある者	個人応募	20名程度	返還支援	原則として、大学在学中に借り受けた機構奨学金又は育英財団奨学金の全額。 ※大学院に進学した場合は、学部～博士課程で受けたいずれか一つの奨学金の全額	http://www.kagoshima-ikuei.jp/ 	2025/7/25(金) ～2025/11/28(金)	郵送・必着	—	

45	CWAJ Scholarship for the Visually Impaired to Study in Japan ＜CWAJ視覚障害学生奨学金＞	1. 身体障害等級表による級別1～6級の視覚障害者。 2. 日本国籍あるいは日本国特別永住権を持つ男女で、出願時に日本に在住する者。 3. 大学奨学金に応募する者は、2026年3月末までに国内の4年制大学の2学年を終了していること。 4. 大学院奨学金に応募する者は、2026年3月末までに国内の4年制大学を卒業し、CWAJ奨学金支給期間中(2026年4月～2027年3月)に国内の大学院に学位取得のために在学すること。 5. これまでにCWAJから奨学金を受けたことのある者、同時期に他の団体や公的機関から年額60万円を超える奨学金を受ける者(貸与、障害者年金、学費減免は除く)、およびCWAJのメンバーは、応募できない。 この奨学金の選考にあたり、英語力が問われることはありません。応募書類は英語、もしくは日本語で記入できます。面接は日本語で行われます。	個人応募	2名	給付	年額1,000,000円	https://cwaj.org/jp/scholarship/scholarship- visually-impaired-to-study-in-japan/ 	2025/7/1(火) ～2025/11/7(金)	オンライン	—	ご質問は Scholarshipinquiry@cwaj.org までメールでお送りください。
35	公益財団法人 交通遺児育英会 (大学院学生)	保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生であること。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含みます。(申込時25歳までの人) ※後遺障害とは、自動車損害賠償保障法施行令別表第1及び別表第2の第1級から第7級までの障害、身体障害者福祉法の第1級から第4級までの障害、又は精神保健及び精神障害者福祉法の第1級から第3級までの障害です。	個人応募	20人	貸与	奨学金月額5・8・10万円から選択(うち2万円は給付)		2025/10/31(金)在学募集	郵送・必着	—	
34	公益財団法人 交通遺児育英会 (学部学生)	保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生であること。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含みます。(申込時25歳までの人) ※後遺障害とは、自動車損害賠償保障法施行令別表第1及び別表第2の第1級から第7級までの障害、身体障害者福祉法の第1級から第4級までの障害、又は精神保健及び精神障害者福祉法の第1級から第3級までの障害です。	個人応募	300人(奨学金) 200人(入学一時金)	貸与	奨学金月額4・5・6万円から選択(うち2万円は給付) 入学一時金(1年生) 40・60・80万円から選択		2025/10/31(金)在学募集	郵送・必着	—	
57	社会福祉法人 さばうと21 2026年度 「学生支援プログラム」Support21 Social Welfare Foundation	①日本に定住する外国にルーツを持つ学生であり、2026年4月に大学3年生以上又は大学院在籍／進学見込みの方で、以下のaまたはbに該当する方 a)難民とその子など、本人／親が難民またはそれに準ずる背景により来日した方 b)原則として、「定住」「永住」の在留資格を持つ方(既に日本国籍になった方も含む) ・在留資格が「留学」の方は対象外 ②学費の負担が困難な方 ③研修行事などに参加できる方	個人応募	15名程度	給付	大学院生: 60～120万円/年 大学生: 50～100万円/年	https://support21.or.jp/needsupport/schola rship-tuboi-2/ 	2025/11/15(土)必着	レターパック、簡易書留、持ち込み	—	給付期間:2026年4月～2027年3月 ※在留資格が「留学」の者は対象外 ※主に理系の学生を優先(専攻分野の指定なし) ※大学院は修士課程優先
55	公益財団法人 本庄国際奨学財団 (HONJO International Scholarship Foundation)	(すべての資格に該当すること) 1. 日本国籍を持つ者。 2. 2026年4月時点で大学院に在籍している者。または2026年4月に入学を予定している者。申請時にすでに在籍している方、申請時に在籍していない(社会人である)方も応募可能です。 3. 2026年4月時点で在籍期間が残り1年以上あること。 4. 専門職大学院は原則的に対象外ですが、研究計画書を提出できる場合は、応募可能です。 5. 博士課程はすでに在籍中の場合は35歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に35歳以下であること、修士課程はすでに在籍中の場合は30歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に30歳以下であること。 6. 大学院修了後は母国に貢献する将来計画を持つ者。 7. 国際親善や交流に理解を持ち、財団で行う行事や同窓生ネットワークに積極的に参加または協力できる者。	個人応募	若干名	給付	以下の金額と期間のうち、最終目標とする学位取得までの最短期間にあたる期間を奨学金支給期間とします。 支給開始後の期間の変更はできません。 (1)月額23万円を1年間～2年間 (2)月額21万円を3年間 (3)月額18万円を4年間～5年間	募集要項 	2025年9月1日～2025年10月31日(奨学金オンライン申請システムの稼働期間)	奨学金オンライン申請システム(このシステムは2025年9月1日よりアクセス可能となります)	—	






54	一般財団法人田中孝典記念教育財団	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。</p> <p>(1) 日本国籍を有すること</p> <p>(2) 国内の大学の理工系学部※に在籍する学部3年生であること</p> <p>(3) 応募締切日時点で年齢25才以下であること</p> <p>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること</p> <p>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること</p> <p>※ 理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの(例:情報理工学部、創造工学部、理工学群 応用理工学類 応用物理主専攻)</p> <p><応募の目安※></p> <p>・学業成績: GPAが3.0以上</p> <p>・家計状況: 収入・所得が募集要項に記載の金額以下であること</p> <p>※募集要項参照</p>	個人応募	10名	給付	年額48万円	<div>https://www.tanakatakanori-zaidan.org/scholarship.html</div> <div></div>	2025/9/1(月) ～ 2025/10/31(金)	郵送・必着	—	
----	------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	-----	----	--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------	-------	---	--




22	山形県産業労働部 (やまがた若者定着枠) (Yamagata Pref.)	・山形県内の高校を卒業し、国内の対象大学等に在学している方 ・県内に事業所を有する企業等に就職又は県内での創業を希望する方 ・大学等を卒業後13か月以内に県内に居住・就業し、5年以上継続する見込みの方(公務員等を除く) ・当事業(過年度募集分)他の返還支援事業及び修学資金貸付を利用していない方	個人応募	全国:230名	返還支援	2万6千円×支援対象の月数(上限 奨学金の返還残額)	https://www.pref.yamagata.jp/110001/bunkyo/wakamonoseishounen/wakamono/svogakukin/svogakukinhenkansien.html 	追加募集中 (詳細はHP参照)	持参または郵送	-	・支援対象奨学金:日本学生支援機構第一種奨学金、日本学生支援機構第二種奨学金、市町村が実施する奨学金 上記のうち市町村が指定する奨学金 ・応募先:大学等を卒業後に居住する予定の市町村
	山形県産業労働部 (企業連携支援枠)(Yamagata Pref.)	・山形県内の高校を卒業し、国内の対象大学等に在学している方 ・登録企業等に就業を希望する方(登録企業等一覧 参照) ・大学等を卒業後13か月以内に県内に居住・就業し、5年以上継続する見込みの方(公務員等を除く) ・当事業(過年度募集分)他の返還支援事業及び修学資金貸付を利用していない方		全国:50名		2万6千円×支援対象の月数+10万円(上限 奨学金の返還残額)		2025年5～9月頃 (詳細はHP参照)		-	・支援対象奨学金:日本学生支援機構第一種奨学金、日本学生支援機構第二種奨学金、市町村が実施する奨学金 ・技能者育成資金 ・応募先:山形県
53	一般財団法人黒木育英奨学金 KUROKI FOUNDATION	以下の(1)～(6)のすべてに該当すること。 (1) 日本国籍を有すること (2) 両親または片親がいない世帯に属していること (3) 国内の大学に在籍する学部3年生であること (4) 応募締切日時点で年齢25才以下であること (5) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (6) 就学状況及び生活状況について適時報告できること <応募の目安※> ・学業成績:GPA(Grade Point Average)が3.0以上であること ・家計状況:収入・所得が募集要項に記載の金額以下であること ※募集要項参照	個人応募	10名	給付	年額48万円	https://kuroki-foundation.org/shogakukin/ 	2025/8/1(金) ～ 2025/9/30(火)	郵送・必着	—	
50	一般財団法人阪大微生物病研究会 BIKEN 谷口奨学金制度	奨学生は、次の①～⑥の応募資格を全て満たす必要があります。 ① 2026 年 4 月 1 日時点で、日本国内の大学院博士課程に在学し、次のいずれかに該当する者 在学年次 ・ 4 年制博士課程第 1 年次～第 3 年次 ・ 5 年一貫制博士課程の第 3 年次～第 4 年次 ・ 区分制博士課程の後期第 1 年次～第 2 年次 ・ 後期 3 年課程のみの博士課程第 1 年次～第 2 年次 ② 微生物病等(細菌、ウイルス、感染症、ワクチン等)に関する研究を行う者 ③ 本奨学金の給付期間中は、原則として企業・団体等との雇用関係を有さない(予定)者 ※ 企業等からの出向者等は本奨学金の対象外となります。 ④ 日本国籍を有する者 ⑤ 学業成績・人物ともに優秀であり、心身ともに健康で、受入先指導教員の推薦を受けられる者(推薦書をご提出いただきます) ⑥ 同年度における本奨学金への申請者が、同教室かつ同学年において 1 名以内である者(異なる年度、もしくは異なる学年の場合は、同じ研究室であっても応募資格があります。) ※ Only for the Japanese students.	個人応募	10名程度	給付	月額 8 万円(併給可)	募集要項 	2025年9月30日(火)	応募フォーム	-	
49	一般財団法人ジェイリース奨学基金事務局	身体障害者手帳(視覚障害1～6級)が交付されている、または視覚に障害があることを証明する医師の診断書が提出可能で、以下4つのいずれかに該当する方。 ・視覚障がい者を対象とした職業訓練機関等に在籍中の方 ・盲学校(視覚特別支援学校)の専攻科に在学中の方 ・国内の大学の大学生ならびに大学院生、短大生の方 ・高等学校(盲学校高等部含む)3年生の内、卒業直後に訓練機関、盲学校専攻科及び国内の大学等いずれかへの進路を希望している方	個人応募	5名程度	給付	年間60万円 返済の義務はありません。3回に分けて支給します。 行政や役所、JASSO(独立行政法人日本学生支援機構)等以外の奨学金との併給は認めておりません。	https://www.nh-shogakukikin.jp/ 	2025年6月2日(月)～ 2025年9月19日(金)	郵送(当日消印有効)または 応募フォーム	-	





48	公益財団法人吉田育英会 (Yoshida Scholarship Foundation) ＜日本人派遣留学プログラム＞	・日本国籍を有する方。 ・2025年4月1日現在において35歳未満である方。 ・奨学生採用内定後、2026年4月から2027年3月までの間に新たに留学を開始する方。すでに留学中の方の支援は行いません。また、当プログラムの支援による留学開始前に行う、学部・大学院での留学期間の合計が1年を超え、または超える見込みの方は対象となりません。 ・2025年4月1日現在において日本の大学に在籍している方(学生、教育研究職の別を問わない、大学付置研究機関を含む)。 ・日本の大学の学士号以上の学位を留学開始までに取得している方。 ・次のいずれかを留学の目的とする方。 ①海外の大学の博士号を取得すること。 ②海外の大学院同等の研究機関で研究を行うこと(日本の大学の博士号を留学開始までに取得している場合のみ。いわゆるポスドク研究員。留学期間は2年間であることが望ましい。)。 ③海外の医学医療・公衆衛生系大学院で専門学位を取得すること、または同等の研究機関で研究を行うこと(日本の医師免許を留学開始までに取得している場合のみ)。 ・私費留学生である方。民間企業から派遣される留学生は対象なりません。また、留学中に給与収入のある方は対象になりません。 ・原則として他の奨学金との併給は認めません。ただし、留学先の大学から支給される奨学金や、TA、RA等による収入を除きます。 ・留学先で支障なく勉強、調査、研究を行う語学能力のある方。英語圏に留学する方は、奨学金の応募に先立ち、TOEFL(団体向けのITPテストは不可)またはIELTSをあらかじめ受験してください。英語圏以外の国に留学し、当該国の言語を主に研究に使用する方は、ZD(ドイツ語)・DAPF(フランス語)等の試験をあらかじめ受験してください。留学に際して望まれる語学力(英語圏) TOEFL IELTS(アカデミック・モジュール)専攻分野が理系の場合 iBT88 点 6.5 ・家計基準(世帯の家計支持者ならびに本人及び配偶者の収入による応募制限等)はありません。	個人応募	5名程度	給付	・生活滞在費として奨学期間を通じて月額2,500米ドル ・留学先の大学に納付する授業料等、または奨学期間中の学術研究のための費用(研究費)として奨学期間内に合計250万円以内の実費 ・往復の渡航に要する交通費 ※授業料等には、入学金、授業料及び学生健康保険料等の大学に納付する費用を含みます。なお、入学金は複数の大学に合格した場合も実際に入学する1校分のみを支給します。 (奨学金は非課税)	https://www.vsf.or.jp/vsfpdf/sch2026_guideline06.pdf 	2025年9月2日	郵送・必着	-	※募集・申請手続きは(2)公募の場合をご覧ください。
41	山口県高度産業人材確保事業に係る奨学金返還補助制度	(1)応募時点で奨学金の貸与を受けている方又は貸与の申請をしている方 (2)大学院修士課程の1年生で、工学研究科、理学研究科、農学研究科若しくは薬学研究科(これらに相当する研究科を含む)に在籍している方 (3)大学院修士課程を修了又は大学を卒業した年の翌年4月末日までに製造業を営む企業の山口県内の事業所又は情報サービス業を営む企業の山口県内の事業所で就業することを希望する方	個人応募	25名程度 (内薬剤師枠5名含む)	卒業後の返還支援	補助対象期間の 月数÷72 × 奨学金の返還額(円未満切り捨て)上限	https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/255/202864.html 	2025/9/30(火)	持参、郵送 (当日消印有効) Eメールでの提出可	-	
47	一般財団法人 日本知財人材育成財団正林真之記念 奨学金	(1) 日本国籍を有すること (2) 国内の大学の理工系学部 に在籍する学部 3 年生であること (3) 応募締切日時時点で年齢 25 才以下であること (4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること ※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの(例:情報理工学部、創造工学部、理工学群 応用理工学類 応用物理主専攻)	個人応募	10名	給付	年額48万円	https://chizai.org/scholarship/ 	令和7年7月1日 ～ 令和7年8月31日	郵送・必着	-	
46	社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会 (菊地久治勉学奨励金)	(1) 佐倉市在住であり、ひとり親世帯かつ低所得世帯に属していること。 (2) 健康であり、学業成績、人物ともに優秀であること。 ※大学等における総評定のうちA判定が1／3以上であることを目安とします。 (3) 学費の援助を必要とする家計状況であること。 (4) 学校教育法に規程する4年制の大学または短期大学に在学する者であって満23歳未満の方。ただし、医療系等就業年限が4年を超える学部については、除外する。また、下記①②のどちらかに該当すること。 ①大学及び短期大学の学部・学科・専攻等が概ね偏差値60以上であること。 (あくまで目安ですので個別にご相談ください。) ②大学及び短期大学では福祉学を専攻し、将来福祉分野での仕事に就くことを目指している。 (5) 在学する学長もしくは学部長の推薦が得られること。 (6) 国の実施する給付型奨学金を受給もしくは既に申請をしていること。	個人応募	若干名	給付	入学金、授業料、施設費等 学校納付金として年間150万円を限度とする実費です。 ※通学定定期代、テキスト代等については支給対象外であり、自己負担となります。	http://www.sakurashakyo.or.jp/m0204.html 	令和7年7月1日(火)8:30～ 令和7年8月29日(金)17:15 時間厳守	事前連絡の上、応募者本人が窓口へ持参(平日8:30～17:15)すること。(郵送不可)	-	




39	公益財団法人 富山文化財団	□「楽しく豊かな遊び文化」「子供の遊育と健やかな成長」「日本のものづくり」のいずれかに関わる夢を持って学業に取り組んでいること □2025 年4月時点で関東地方の大学院、4年制大学及び各専攻科に在学し、かつ同地方およびその隣接地域に在住している方 □奨学生として以下の義務を履行できること ▽奨学生のための活動に参加し、学生間の交流による意識高揚に努めること(11/16開催予定) ▽各種連絡に応じ、指定された必要書類等を提出すること(課題提出年3回) ▽異動等の重要な事象が発生した場合には直ちに報告を行うこと □学業優秀、品行方正であり、かつ経済的な支援を必要とすること ※ International students can also apply. Japanese skills are required.	個人応募	全国： 34名	給付	年額360,000円	https://www.tomiyama-cf.or.jp/ 	2025/6/11(水)午前10:00～7/14(月)午前10:00	応募フォーム	-	
40	ABS(米国船級協会)	・大学生(3年生もしくは4年生) ・大学院生 ・学術優秀、海洋産業に対し熱意があり品行方正であること ・卒業後、造船、海運、船級等の海事産業に就職する意思のあること ・父母の合計年収が800万円以下(本人も含めて合計年収1000万円以下)であること ※※ Only for the Japanese students.	個人応募	2名	給付	月額540米ドル ※支給月の弊会レートにより算出された金額(日本円)にて支給	募集要項 申請書 推薦書 	2025/6/20(金)17:00	原則、郵送・必着 Eメールでの出願可	-	出願書類 1. ABS奨学金受給申請書 2. 小論文(A4紙1枚:「海洋産業に従事し、自分が目指したい事」) 3. 学校推薦状(ご推薦いただく先生または学校の署名または捺印必須) その他、9月と12月に活動報告書の提出あり。 ※他奨学金との重複、併用可。
38	一般財団法人 平石教育財団	(1)2025年4月1日に日本国内の4年制大学に在籍する大学1年生(※) (2)経済的な支援を必要とする者 (3)世帯所得が300万円以下である者(年収目安約430万円) ※4年制大学の学部・学科生に限り、通信教育課程及び夜間学部生、並びに外国人留学生を除くものとします。 ※ Only for the Japanese students.	個人応募	全国： 10名	給付	年額 360,000円	https://hiraishi-foundation.org/ 	2025/6/13(金)	郵送・必着	-	※独立行政法人日本学生支援機構を含む他の貸与型・給付型奨学金のほか、国が実施する高等教育の修学支援新制度との併用を認めています。相手先が併用可能かはご自身にてご確認ください。
37	公益財団法人 重田教育財団 (Shigeta Education Foundation) ＜日本人留学生奨学金＞	(1)日本国籍を有する者 (2)海外の大学又は大学院への入学が決定している者 (3)経済的な理由により留学費用の支弁が困難であること (4)学業優秀かつ品行方正であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること ※ Only for the Japanese students.	個人応募	全国： 5名	給付	月額 200,000円	https://s-ef.or.jp/scholarship/ 	2025/6/30(月)	郵送・必着	-	学位取得を目的とする2年以上の正規留学を対象とし、語学留学・短期留学等は対象外とします。
36	公益財団法人 原・フルタイムシステム 科学技術振興財団	(1)日本国籍を有すること (2)国内の大学・大学院の工学系学部又は工学系研究科に学ぶものであること (3)新たに学部3年生又は修士課程1年生又は博士課程1年生となる者であること (4)募集年度4月1日時点で年齢30歳以下であること (5)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (6)就学状況及び生活状況について適時報告できること (2ヶ月に一度、定められた期限までに報告書を提出すること)	個人応募	15名程度	給付	月額4万円	https://hara-kagaku.org/scholarship.html 	2025/6/10(火)	郵送・ 当日消印有効	-	※他の奨学金制度への併願又は既に利用している場合も給付対象とします。
33	公益財団法人 山村章奨学財団	(1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の工学系学部 に在籍する学部3年生であること (3)募集年度4月1日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること	個人応募	10名	給付	年額48万円	http://yamamura-scholarship.org/scholar.html 	2025/5/31(土)	郵送・必着	-	※他の奨学金を受けている場合でも応募可能

32	一般財団法人 谷育英財団	(1) 日本国籍を有すること (2) 国内の大学の理工系学部 に在籍する学部3年生であること (3) 応募締切日時点で年齢25才以下であること (4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること	個人応募	10名	給付	年額48万円	https://tani-edu-foundation.org/scholarship/ 	2025/5/31(土)	郵送・必着	-	
31	あしなが育英会(Ashinaga foundation)	保護者が病氣、災害(道路上の交通事故を除く)もしくは自死などで死亡、または保護者が1級から5級の障害認定を受けていて経済的な援助を必要としている家庭の子ども2000年(平成12年)4月2日以降生まれた方が対象 ※ Only for the Japanese students	個人応募	200人程度	貸与	(大学生) 月額4万円または5万円	https://www.ashinaga.org/scholarship/ 	2025/5/20(火) (当日消印有効)	郵送・ 当日消印有効	-	
30	一般財団法人 木原財団 (KIHARA Foundation)	(1) 日本国籍を有すること (2) 国内の大学の理工学系学部 に在籍する学部3年生であること (3) 2025年5月31日時点で年齢25歳以下であること (4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5) 就学状況及び生活状況について適時報告ができること ※Only for the Japanese students.	個人応募	全国: 10名	給付	年額48万円	https://kihara-foundation.org/ 	2025/5/31(土)	郵送・必着	-	
27	公益財団法人寿財団	(1) 日本国籍を有すること (2) 大学3年生であること ※4年制学部の春季入学者に限る (3) 募集年度4月1日時点で年齢25才以下であること (4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5) 修学状況及び生活状況について適時報告できること	個人応募	10名	給付	月額40,000円 (年額480,000円)	kotobukizaidan.org 	2025/5/30(金)必着	郵送・必着	-	
26	一般財団法人 古宮誠一記念教育財団	(1) 日本国籍を有すること (2) 国内の大学の理工系学部※に在籍する学部 3 年生であること (3) 応募締切日時点で年齢 25 才以下であること (4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること ※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの <応募の目安※> ・学業成績: GPA (Grade Point Average) が 3.0 以上であること ・家計状況: 収入・所得が募集要項に記載の金額以下であること	個人応募	10名	給付	年額48万円	https://komiva-zaidan.org/#/scholarship_page 	2025/5/31(土)必着	郵送・必着	-	
23	公益財団法人オークネット財団	(1) 日本国籍を有すること (2) 大学の経済系学部及び情報系学部 に在籍する学部3年生であること (3) 応募締切日時点で年齢25才以下であること (4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること <応募の目安> ・学業成績: GPA (Grade Point Average)が3.0以上であること ・家計状況: 収入・所得が募集要項に記載の金額以下であること ※Only for the Japanese students.	個人応募	20名	給付	年額48万円	https://aucnet-foundation.org/scholarship/ 	応募期間: 2025年4月1日(火)～5月31日(土)	郵送・必着	-	・他の奨学金を受けている場合でも応募可
21	公益財団法人 似鳥国際奨学財団 (NITORI International Scholarship Foundation) <2025年度下期>	(1) 日本国籍を有する者(「永住者」「定住者」を有する外国籍の者も可) (2) 日本国内に居住している者 (3) 23歳以下の正規生の学部1～4年生、または25歳以下で正規生の博士 前期課程1・2年生在籍予定(2025年10月1日時点)	個人応募	全国: 450名 (上期・下期合わせて) ※うち80名は「IT人材奨学生」として採用	給付	月額5～8万円 【IT人材奨学生】 月額8万円 支給金額は採用時に通知	https://www.nitori-shougakuzaidan.com/application/#scholarship 	2025/5/21(水)13:00まで	Web登録	—	・他奨学金(給付型)との重複受給は不可。 ※詳細は募集要項参照

20	在日本朝鮮人教育会 (Kyoikukai)	1. 日本全国各大学の学部に在籍する在日朝鮮人学生で、本財団＜奨学制度の目的＞に賛同する 30 歳未満の者。(国籍不問) 2. 成績が優良で、かつ学費の支弁が困難な者。 3. 本教育会の指定行事に積極的に参加する意思のある者。	個人応募	—	給付	大学2年生以上： 年額200,000円 大学1年生： 年額160,000円	http://kyoikukai.net/svogakukin.html 	応募期間：2025年4月1日(火)～5月 31日(土)	郵送の場合 5/31当日消印有効 ネット申請の場合5/31 23:59まで全ての書類提出	—	※ 大学院生、本国からの留学生の募集は行わない。 ※ 日本学生支援機構を除く他の給付制の奨学金との併給は不可。但し応募は可能。
29	公益財団法人バロック村井博之財団 (Baroque Murai Hiroyuki Foundation)	・日本国内に居住する者で日本国内の大学に在学する日本人学生及び外国人留学生(大学院生は対象外) ・他の給付型奨学金を受給していない者 ・財団が企画する行事(贈呈式等)への参加に協力することができる者 ※世帯所得は書類選考の判定に使用しますが、世帯所得による応募制限はありません。 ※International students can also apply.	個人応募	30名	給付	年額40万円	https://baroque-murai.or.jp/scholar/ 	2025/5/16(金) (当日消印有効)	郵送・ 当日消印有効	—	
15	公益財団法人 ダイオーズ記念財団 (The Daiohs Memorial Foundation)	(1)当財団が主催する年2回の報告会に出席できること。(2)将来の夢を実現させるために挑戦する意欲を持った学生、もしくは様々な能力を伸ばそうという意欲のある学生であること。 (3)出願する年の4月現在、大学(2年～)、大学院修士課程・博士課程に在学していること (4)2025年4月1日時点で、原則として大学生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下であること。留学生の場合、原則として大学生は満31歳以下、大学院生は満38歳以下であること(5)成績要件及び所得要件を満たしていること(【募集要項のリンク】参照)	個人応募	全国： 100名程度	給付	月額30,000円 (年間36万円を年2回に分けて支給、1年間限定支給)	http://www.daiohs-zaidan.or.jp/ 	2025/5/15(木)	Web登録	—	
14	一般財団法人鷹野学術振興財団	次の(1)～(4)(日本国籍を有しない方は(1)～(5)の各項すべてを満たす方 (1)学部生ならびに大学院生で「科学技術関係」を専攻している学生 (2)2025年4月1日現在、大学の1年～3年に在籍している、若しくは大学院修士課程の1年次に在籍していること (3)卒業後は「製造業への就職を希望」していること (4)過去に当財団の奨学生に採用されたことがないこと (5)外国人(日本国籍を有していない方)の場合は、日本語の会話・読み書きに習熟していること	個人応募	若干名	給付	年間60万円(給付対象期間 2025年8月1日～2026年7月31日)	https://www.takano-zaidan.com/%E5%A5%A8%E5%AD%A6%E9%87%91%E6%83%85%E5%A0%B1/2025%E5%B9%B4%E5%A5%A8%E5%AD%A6%E7%94%9F%E5%8B%9F%E9%9B%86%E8%A6%81%E9%A0%85-%E6%A7%98%E5%BC%8F%E3%83%80%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%89/ 	2025年4月1日(火) ～2025年5月15日(木)必着	郵送・必着	—	※提出書類は原則として「A4」に統一してください。(ただし、出身高等学校の調査書などともとA4サイズ以外で作成されている書類はそのままのサイズで構いません) ※提出書類はすべて片面だけの使用としてください。(両面への記載又は両面印刷による提出は不可) ※提出書類は、ホッチキスで綴じないでください。(クリップ等でまとめてご提出ください。 ※他の財団・民間団体等の奨学金との併給は認めません。(但し、「日本学生支援機構」の奨学金及び「高等教育修学支援制度」の奨学金ならびに「所属大学独自」の奨学金(授業料の半額免除など)との併給は構いません) 奨学金支給終了後の奨学生の義務がありますので、募集要項をよくお読みください。
3	公益財団法人 日本通運育英会	以下のA～Dの要件をすべて満たす学部学生 A:交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が交通事故により重度の心身障害を負った方(※1)。あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方(※2) B:2025年4月弦在、18歳以上21歳以下の方 C:A項を原因として、経済的に修学が困難と認められる方(※3) D:学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方	個人応募	20名	給付	月額3万円	http://www.nittsu-ikueikai.or.jp/ 	2025/4/1日(火) ～5月15日(木) 当日消印有効	郵送	—	※1～3:基準等は当該奨学団体のHP,募集要項を確認のこと。

25	一般財団法人 エイブル文化振興財団 (Able Foundation)	(1)大学01コース)学業優秀な者(大学02コース)本人と生計維持者の住民税所得割が非課税の学生で学業優秀な者。 (2)将来グローバルに活躍する夢を持つ学生であること。 (3)学部生 (4)支給期間中、当財団が定めるレポート等を期日までに提出できるもの。 (5)支給期間中、当財団の行事に積極的に参加できるもの。	個人応募	全国: 40名 (大学01コース・大学02コース各20名程度)	給付	(大学01コース:年額60万円、大学02コース:年額40万円)	https://www.ablefoundation.or.jp/requirements/ 	財団HP応募フォーム受付: 2025年4月1日11:00～ 2025年4月30日 17:00 応募書類締切: 2025年5月8日(必着)	Web登録及び書類郵送	-	
24	【長崎県未来人材課】奨学金返済支援制度	【募集対象者】 (1)奨学金を受給している大学生等(令和7年4月時点で在学中の方。 (2)令和8年3月卒業かつ令和8年4月就職予定のもの (3)対象業種の県内事業所で正規雇用として就業及び県内定住を希望するもの (4)支援候補者に登録された場合①～③に同意するもの ①氏名、連絡先(住所及び電子メールアドレス)、学校に関する情報(学校、学部学科名、卒業予定時期等)を「アシスト企業」へ提供すること 「アシスト企業」とは、奨学金返済アシスト事業の趣旨に賛同し、寄付にご協力いただいた企業・団体の内、対象業種に含まれる企業をいいます。 ②県及びアシスト企業から郵便又は電子メール等により就職関連情報、企業情報等を送付、送信すること ③県から連絡する各種の事務手続きを期限までに行うこと期限までに手続きを行わなかった場合、予告なく登録は失効します。	個人応募	70名程度	返還支援	○大学等在籍中に受給した対象奨学金の返済額の2分の1(最大150万円) ○県内企業に就職後、3年勤務後に奨学金返済予定額の1/4、6年勤務後に残りの半額を支給します。	https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kankou-kyoiku-bunka/gakkokyoiku/assist/kouhosya/ 	令和7年5月12日(月)必着	郵送・必着	-	◆大学卒業後、長崎県内に居住し、県内の対象業種の企業に一定期間就業する必要があります。 【対象奨学金】(入学時貸与の一時金は対象外) ○日本学生支援機構の第一種奨学金及び第二種奨学金 ○母子父子寡婦福祉資金貸付金のうち修学資金 ○生活福祉資金貸付金のうち教育支援費(就学支度金費は対象外)
19	フルブライト奨学金事業② 大学院博士論文研究プログラム	1. 日本国籍を有すること。(日米の二重国籍者あるいは米国永住権を持つ者は応募不可)出生地が米国で米国籍離脱の手続きを行っていない場合は応募不可 2. 日本在住の者 3. 米国で支障なく学術活動が行えるだけの十分な英語力があること。 また、学術的能力のみならず、高いコミュニケーション能力があること。 4. 米国で研究を計画しているテーマに関する専門知識に限らず、広い視野と関心を有すること。 5. 米国で支障なく学術活動が行えるよう、心身ともに健康であること。 6. 日本の大学院において2026年4月1日の時点で博士課程(一貫プログラムの場合は、博士後期課程)に1年以上在籍する者。 7. 米国在住経験の少ない者を優先する。	個人応募	全国:約20名 (「大学院留学プログラム」を含む)	給付	給付期間:6～10ヶ月	https://fulbright.jp/scholarship/ 	2025年3月1日(土)～2025年5月1日(木)	オンライン登録	-	下記に該当する者は対象から除く ●すでに博士号を取得している者、渡米前もしくは渡米中に日本の大学より博士号を取得予定の者。
18	フルブライト奨学金事業①大学院留学プログラム	1. 日本国籍を有すること。(日米の二重国籍者あるいは米国永住権を持つ者は応募不可)出生地が米国で米国籍離脱の手続きを行っていない場合は応募不可 2. 日本在住の者 3. 米国で支障なく学術活動が行えるだけの十分な英語力があること。 また、学術的能力のみならず、高いコミュニケーション能力があること。 4. 米国で研究を計画しているテーマに関する専門知識に限らず、広い視野と関心を有すること。 5. 米国で支障なく学術活動が行えるよう、心身ともに健康であること。 6. 将来日本の大学または大学附置の研究機関で教職または研究職を志望する日本の大学院在籍者。 7. 学士号取得者 8. 米国在住経験の少ない者を優先する。	個人応募	全国:約20名 (「大学院博士論文研究プログラム」を含む)	給付	給付期間 1年目:原則として12ヶ月。1年プログラムの場合は終了時まで。※2025年度より、授業料は全額支給。 2年目:授業料、生活費等すべて含め「上限 25,000ドルまで」更新の可能性がある。更新は1年目の学業成績、財政援助の必要度などで決定するものであり、自動的に更新されることはない。追加資金援助の可能性あり(注釈参照)。3年目以降の奨学金の更新はない。					下記に該当する者は対象から除く ●すでに博士号を取得している者、渡米前もしくは渡米中に日本の大学より博士号を取得予定の者。 ●すでに米国大学院の修士・博士課程の経験があり(在籍年・レベルは問わない)、残りの課程修了を目的とする者。 ●米国外(日本を含む)の大学院に在籍し、在籍大学院と提携米国大学院でのダブル・ディグリー取得を目的とする者。 ●医学校・歯科学校においてインターンまたはレジデントとしての研修およびリサーチを目的とする者。

17	一般財団法人オークラ育英財団	次の各号に該当する者 (1)出願する年の4月1日現在、学部2年生以上で、原則として年齢が30歳以下であること (2)日本国籍を有すること (3)学業、人物ともに優秀であり、健康であること ※Only for the Japanese students.	個人応募	10名程度	給付	月額30,000円 (2025/4/1から1年間限定支給。6月末、8月末、11月末、2月末に3か月分まとめて支給)	https://okura-ikueizaidan.com/ 	応募期間: 2025年4月1日(火)～ 2025年4月30日(水)	Web専用サイトのみ	-	他の奨学金との併給は可。
16	公益財団法人 マブチ国際育英財団	1 経済的に困窮し就学困難な者(世帯合計年収600万円未満) 2 アジア諸国の国籍(日本国籍を含む)を有し、日本に在住する、2025年4月に大学の正規学部に通う1・2年生 3 大学の勉学に必要な日本語能力(概ねN2以上)を有する者 4 健康で学業成績優秀な者 大学2年生の場合(1年次基準成績)・GPA採用大学:次のGPでGPA2.5以上・素点90点以上(秀、S等):5・素点80―89点(優、A等):5・素点70―79点(良、B等):3・素点60―69点(可、C等):1 5 在学大学の推薦を受けられる者 6当財団の奨学金支給時に、他の給付型奨学金を受給する予定のない者 ただし、次の奨学金については、月額5万円までは併給を認め、5万円を超過した金額を当財団の奨学金より減額します。 ①文部科学省の高等教育の修学支援新制度(授業料等減免は当財団の奨学金に影響しません) ②文部科学省の外国人留学生学習奨励費(独立行政法人日本学生支援機構の留学生受け入れ促進プログラム) ③地方自治体による給付型奨学金のうち併給を認めているもの ④大学による給付型奨学金等のうち併給を認めているもの入学金および授業料等の減免(名称に関わらず実質的に減免と判断されるものも含む)については併給とは見做しません。	個人応募	15人程度	給付	入学一時金 300,000円 (2025年4月入学者のみ) 奨学金月額 100,000円 (学費及び生活費として)	https://isfw.mabuchi.or.jp/scholarship 	応募期間: 2025年3月1日(土)～4月13日(日)	HPより応募	-	1 ホームページ掲載の「奨学金応募シート」より応募してください。応募期間: 2025年3月1日(土)～4月13日(日) 2 1次選考の結果、選考通過者には2次選考に必要な書類をメールで送付します。送付予定日: 2025年4月18日(金) ※メール返信にて2次選考に進む意思の有無を連絡してください。期日までに回答(返信)がない場合は、2次選考にすすむ意思がないものと見做しますのでご注意ください。 返信期日: 2025年4月21日(月) 3 2次選考に進む者は、必要書類一式を財団宛に郵送してください。 郵送締切日: 2025年5月7日(水)財団必着 4 送付された申込書類で2次選考を行い、書類選考合格者にはメールで通知します。通知予定日: 2025年5月9日(金) 5 2次(書類)選考通過者に当財団で面接による最終選考を行います。面接予定日: 2025年5月20日(火)～21日(水) 6 最終選考の結果をメールで通知します。通知予定日: 2025年5月28日(金) 7 面接選考合格者には当財団での認定式にて認定証を授与します。認定式欠席者については認定を取り消すことがあるのでご注意ください。認定式予定日: 2025年6月7日(土) 【注意事項】 1 応募書類はクリップ等でまとめて、ホッチキスは使用しないでください。なお、応募書類(添付書類も含む)は一切返却いたしません。 2 書類不備・不足のない様に十二分にご注意ください。国際郵便事情等で郵送が遅れる書類は、まず写真・スキャンファイル・FAX等を印刷したものを提出し、原本が届き次第当財団に郵送してください。 3 応募等に関する電話照会には原則お受けいたしかねます。 4 選考内容に関する問い合わせは一切お断りします。
12	一般財団法人 誠志ツルヤ奨学会	下記のすべてを満たしていることが必要 1.2025年4月に新規入学(新1年生)した方 2.食品・食物、農・畜・水産業、栄養・調理等直接「食」に関連する分野で学ぶ方で経済的に困窮が想定される方 3.長野県、及び群馬県出身者で長野県、及び群馬県県内外に進学した方。または、長野県、及び群馬県外出身者で長野県、及び群馬県下の大学・短大・専修学校に進学した方。	個人応募	大学生: 5名程度	給付	月額30,000円(6月と12月に6ヶ月分まとめて支給)	https://www.tsuruva-corp.co.jp/scholar/ 	2025年5月12日(月)必着	郵送	-	6月中旬から下旬に奨学金授与式への出席は義務。証明できる資料を添付した正当な理由の提出なく欠席した場合は資格を取り消します。※その他報告義務、出席義務がありますのでホームページから確認してください。
11	公益信託 池田育英会トラスト (Ikeda Trust Scholarship)	愛媛県内の高等学校を卒業した方、または保護者(奨学生が成人の場合は保護者であった方)が愛媛県内に居住している方で、大学(除く短大)または大学院に在学する、つぎの要件を満たす方。専攻の分野は問いません。 A.大学に在学する方(除く短大) 2年生以上(新入生は対象外) B.大学院に在学する方(学年は問いません) C.学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要な方(他の奨学金と併せて給付を受けることができます。) ※Only for the Japanese students.	個人応募	全国: 5名(予定)	給付	月額17,000円(毎年7月、1月に10万2千円を給付)	https://www.ivobank.co.jp/about/csr/kouken/education/trust/ 	2025/3/17(月)～2025/5/9(金)必着	郵送	—	※結果通知は公益信託事務局から推薦者(担当教官等)経由で通知します。

7	公益財団法人キーエンス財団② (Keyence Foundation)	以下のいずれの各項にも該当する者 ・日本の大学に在籍する大学生(2025年度の新1年生を除く)である者(4年制の学部・学科性に限る。ただし通信教育課程及び夜間学部生、並びに留学生を除く。) ・2025 年 4 月 1 日現在、23 歳以下である者 ・最短修業年限にて卒業の見込みがある者 ・昨年までの「がんばれ！日本の大学生」応援給付金を受給していない者 ・当財団の奨学生ではない者 ・勉学に励み、目標をもって頑張っている大学生 ※ Only for the Japanese students.	個人応募	全国：3,500名程度	給付	月額30万円	https://www.kevence-foundation.or.jp	予備選考 Web 登録:2025年3月3日(月)～4月16日(水) 午前10時 本選考 ①書類提出:2025年4月 22日(火)～5月8日(木) 締切当日消印有効 ② Web登録:2025年 4月22日(火)～ 5月8日(木) 午前10時	(予備選考) Web登録 (本選考) Web登録及び郵送	—	・一次選考のWeb登録後、一次選考通過者は書類提出及びWeb登録(期間:4/23～5/8) ※他の奨学金等との併用についての制限はありません。	
	公益財団法人キーエンス財団① (Keyence Foundation)	以下のいずれの各項にも該当する者 ・2025 年 4 月に日本の大学に入学する者(4年制の学部・学科生に限る。ただし通信教育課程及び夜間学部生、並びに留学生を除く。) ・2025 年 4 月 1 日現在、20 歳以下である者 ・経済的な支援を必要とする者 ※ Only for the Japanese students.	個人応募	全国：700名程度(2025年4月大学入学予定者)		月額10万円 (最短修業年限まで)		一次選考 Web 登録:2025年2月3日(月)～4月4日(金) 午前10時 二次選考 ①書 類:2025年4月10日(木)～4月23日(水) 締切当日消印有効 ② Web登録:2025年4月10日(木)～4月23日(水) 午前 10時		—	・一次選考のWeb登録後、一次選考通過者は書類提出及びWeb登録(期間:4/10～4/23) ※ 日本学生支援機構を含む他の奨学金との併用について (併用とは、当財団の奨学金に加え、期間を一部でも重複して他の奨学金を受給すること) ・貸与型奨学金:併用可 ・給付型奨学金:併用不可(ただし海外留学支援の奨学金は併用可) ・国の修学支援制度による授業料等減免:併用可 ・大学独自の制度のうち現金が給付されるのではなく、大学に納付する授業料が実際に減額または免除される制度:併用可	
5	公益財団法人 本庄国際奨学財団 (HONJO International Scholarship Foundation)	(1)学位の取得を目的として、日本以外の海外の大学院に留学中または留学予定の者。申請時にすでに留学途中または2025年秋に留学先に在籍する予定があれば申請時に留学先に在籍していなくても応募可能です。 (2)日本国籍を有するもの (3)博士課程は35歳まで、修士課程は30歳までに入学するまたは入学していること。 (4)留学先の大学、専攻分野に指定はないが、語学研修は不可。 (5)留学先の国に渡航しないままオンライン等のみで修学する場合は、応募できません。 (6)大学院修了後は、日本において勤務することを確約できる者。修了後直ちにということではありませんが将来的に日本で勤務する希望があれば結構です。 (7)国際親善に理解をもち、貢献を期する者。(8)専門職大学院は原則的に対象外。 (研究計画書を提出できる場合は応募可能とします。) ※Only for the Japanese students.	個人応募	全国： 5名	給付	(USドルの場合)月額2500\$を1～2年間月額2250\$を3年間月額1875\$を4～5年間のいずれか、及び国際学会参加のための助成金(年度内1回上限 20万円)、授業料のための助成金(上限50万円)	https://www.hisf.or.jp/scholarship/abroad/		2025/4/30(水)	奨学金オンライン申請システム→ https://entry.hisf.or.jp/ (このシステムは 2025 年 2 月 3 日よりアクセス可能となります)	—	
28	一般財団法人 センコーみらい財団	(1)文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」の対象者であること(高校在学時に「予約採用」で申込み決定した方) (2)2025 年4月入学予定の新1年生であること (3)4年制の学部・学科であること(6年制の学部・学科は除く)	個人応募	20名	給付	自宅外生 月額50,000円 入学一時金400,000円	https://senko-mirai-foundation.com/#bosyu		2025/4/15(火)必着	郵送・必着	—	※奨学金の併給について 文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」以外の他制度は原則不可

